



☆新情報です。今度はお月様 ☆

夏休みはいかがおすごでしたか。8/13日の流星観察会が今年は実施できず、悔しかった私は、お盆休み明けに津黒高原にまで足を運び、満天の『天の川』を見てやろうと意気込んでいました。ところが、現地へ着くと、心地よい虫の鳴き声とふかふかのベッドのせいかな夜中に目を覚ますことなく、朝を迎えてしまつてのです。なんということでしょう。



今年はこういう感じなのかな。あきらめかけていると、山陽新聞に【9/8(月)に3年ぶりの皆既月食】の見出しが…

来る9/8の午前2時頃から、満月が地球の影に入りはじめ、3時頃に完全な月食になるそうです。またまたやる気が出できました！これは見逃してはならない。よろしければ、皆さん一週間後の月曜日に早起きして空を見上げてください。赤色に染まる神秘的な月が浮かんでいるはずですよ。

☆9月始業式のお話『やりぬく心』☆

今日は始業式でした。9月の品格目標と合わせてこんな話をしました。『自分で決めたことがさいごまでやり通せること、そしてあきらめず続けていること。日常的にやることが習慣化されていること。みなさんにも、いつもしていることがありますよね。』

反対に、夏休みには毎日〇〇しようと張り切っていたのに、できなかったこととか、絶対にこうなりたいと思っていてもなかなかうまくいかないこともたくさんあります。ちょっとした努力で達成したことよりも、何度も何度も挑戦してできるようになったこと。これが価値の高いことだと思います。



この人の話をします。今年の夏の甲子園で活躍した県立岐阜商業高校の横山選手です。生まれつき左手の指がない状態で生まれた男の子です。野球はもちろん両手を使って、ボールを投げたり、捕ったり、バットで打ったりするスポーツです。幼い彼はお母さんに尋ねます。『小学生になると自分の左手の指がほかの子と同じように生えてくるの』と。その時、お母さんはこの本を差し出して一緒に読んだそうです。【さっちゃんのまほうの手】図書室においてあります。

彼は自分の指が一生、生えてこないことを知り、自分がしたいことがやれるようになるための努力を始めます。その努力は私たちの想像を超える時間と繰り返しの連続です。不安もあったはずですよ。左手があったならと何度も何度も悔しがっていたはずですよ。そんな横山選手が今年の甲子園に野球選手として出場し、大活躍。私たちに、あきらめなければできるようになるという姿を見せてくれました。あきらめなければ成長し続けることが誰にでもできる。横山選手を支えた【やりぬく心】はみんな持っています。やってみようとするかどうか、できなければできるようになる工夫と努力をするかどうかです。

2学期が始まります。あきらめなくてよかったと思える令和7年になるといいですね』